

Case 15-2017 :

A 27-Year-Old Woman with Anemia, Thrombocytosis, and Skin Lesions after
Travel Abroad

(*N Engl J Med* 2017; 376:1973-1981)

【患者】 27 歳女性

【主訴】 皮膚病変

【現病歴】

来院 11 か月前にモロッコに 2 カ月(ラクダに乗った)、タイに 2 カ月(ゾウとの接触歴あり、淡水で泳いだ)、その期間に短期間韓国していた。その後帰国(New England 在住)し来院 5 カ月前までは健康であったが、5 カ月前に顎に有痛性の紅斑性丘疹が出現。翌週、熱っぽさを自覚。それに伴い初発の皮疹の付近に多数の丘疹が出現し、癒合して局面となった。右前腕にも類似したより大きな皮疹が出現し、少量の白色の液体を排出していた。近医受診。

近医では筋肉痛、および時々咽頭痛があると訴えた。BT 36.8°C、BP 110/60 mmHg。潰瘍を伴わない 1cm 大の紅色局面が顎の左側に、類似した外見の 1.5cm 大の病変が右前腕に認められた。Cephalexin 処方。

3 日後、皮疹は改善せず左前腕に新規病変が出現し近医再受診。右前腕の病変は波動を伴っており、切開すると少量の血性の液体が排出された。血液培養陰性、血液検査のデータは表 1 に示す通り(AST、ALT、T.Bil、TP、Alb は正常範囲内)。腹部エコーにて肝実質は高輝度、局所病変認めず。胆石を認めず、胆管拡張もなし。TMP-SMX、mupirocin 外用薬が処方され ALP 上昇を受け消化器内科に紹介となった。消化器内科では患者は間欠性の疲労感を訴えたが掻痒感、腹痛、関節痛などは否定した。抗ミトコンドリア抗体、抗核抗体陰性。MRCP で胆道系の病変は否定され、肝の大きさ・輪郭は正常。NAFLD と診断され減量を勧められた。

7 日後、7 日間の TMP-SMX および mupirocin 外用薬の治療を終え近医再受診。病変の大きさは小さくなったが痛みは残っていると患者は訴えた。左前腕の病変は消失し、左顎の病変も小さく、平坦になっており色も薄くなっていた。右前腕の病変は依然として紅色で盛り上がっており、漿液性の痂皮を伴っていた。精査のため皮膚科紹介受診。皮膚科では左顎に輪郭のはっきりとした萎縮性の局面を認め、右前腕の病変は変化していなかった。右前腕の病変の Gram 染色および培養は陰性。Cephalexin および clobetasol 外用薬が処方された。

その後 1 週間の間に左顎の病変は再発し、近医再受診。前回と同様の場所に 2cm の円形の紅色局面が存在し、右前腕の病変は 2cm に拡大していた。皮膚生検にて毛包周囲の肉芽腫病変および好中球、好塩基球の浸潤を認めた(図 1)。PAS、Gram、抗酸菌染色いずれも陰性。Doxycycline 処方。

その後患者はヨルダンにて 4 週間滞在し、その間に左顎の病変は消失したが右前腕の病変は 2 倍の大きさになり、

左前腕の病変が再発。有痛性の外陰部・腭潰瘍が出現し、これらは増悪緩解を繰り返した。帰国後、感染症内科を紹介受診。感染症内科では患者は5カ月にわたり増悪緩解を繰り返す皮膚病変、2カ月にわたる外陰腭潰瘍のエピソード、および時々嘔気があったと訴えた。

【既往歴】 ADHD

【家族歴】 父：DM、母：高血圧、リウマチ性多発筋痛症

【生活歴】 白人、大学院生、インターンのため頻回に旅行歴あり。

【内服薬】 避妊ピル毎日

【アレルギー】 なし

【sick contact】 なし。モロッコにてラクダ、タイにてゾウと接触。タイでは淡水でも泳いだ。牧場は行っておらず搾乳もやっていない。

【性交渉】 ここ数年パートナーは1人、コンドーム使用。

【感染症内科来院時現症】

[バイタル] BT36.5°C、HR 66bpm、BP 90/52 mmHg、RR 16/min、SO₂ 99%(r.a.)、BMI 24.9

[皮膚] 左顎に2cm大、両側前腕に5cm大の辺縁明瞭、紅色、萎縮性の局面あり。潰瘍、痂皮は認めず。右小陰唇及び陰核小体に2mm大の潰瘍あり。

その他身体所見は正常。

【血液検査】

[生化学] 電解質、腎機能検査、血糖はすべて正常。その他検査データについては表1に記載。

[感染症] IGRA(*M. tuberculosis*)陰性、HBc IgM 抗体陰性、HIV 抗原・抗体陰性。

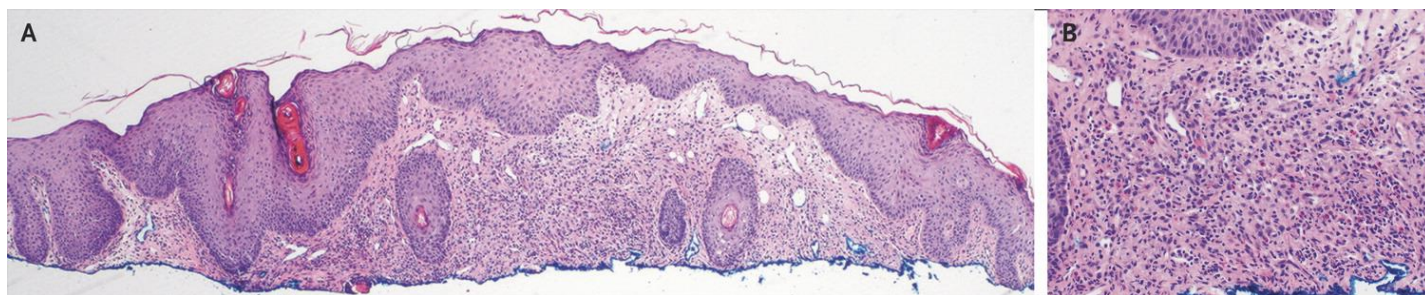


図1：近医での生検結果(左顎病変)

感染症内科初診から4週間後、疲労感および左腕の筋力低下、感覚低下、刺痛を自覚し感染症内科再診。橈骨動脈を触れず、血圧測定不能だが、抹消はあたたかく皮膚色に変化はなかった。

☆プロブレムリストを挙げてください。

☆追加で行いたい検査があれば挙げてください。

表 1:検査データ

Table 1. Laboratory Data.*			
Variable	Reference Range, Adults†	On Presentation, Primary Care Clinic, Other Hospital	On Presentation, Infectious Disease Clinic, This Hospital
Hematocrit (%)	41–53	34.5 (ref 34–37)	31
Hemoglobin (g/dl)	13.5–17.5	10.8 (ref 12–16)	9.5
White-cell count (per mm ³)	4500–11,000	11.9 (ref 4000–11,000)	8.8
Differential count (%)			
Neutrophils	40–70	73.3 (ref 45–73)	56.6
Lymphocytes	22–44	17.3 (ref 25–50)	33.6
Monocytes	4–11	6.4 (ref 1–10)	6.4
Eosinophils	0–8	2.2 (ref 1–3)	2.5
Basophils	0–3	0.8 (ref 0–2)	0.7
Platelet count (per mm ³)	150,000–400,000	641,000	685,000
Mean corpuscular volume (fl)	80–100	80.3	79.2
Alkaline phosphatase (U/liter)			
Total	30–100	183 (ref 20–125)	244
Liver		157 (ref 0–90)	
Bone		26 (ref 0–55)	

* The term ref indicates the reference range at the other hospital.

† Reference values are affected by many variables, including the patient population and the laboratory methods used. The ranges used at Massachusetts General Hospital are for adults who are not pregnant and do not have medical conditions that could affect the results. They may therefore not be appropriate for all patients.